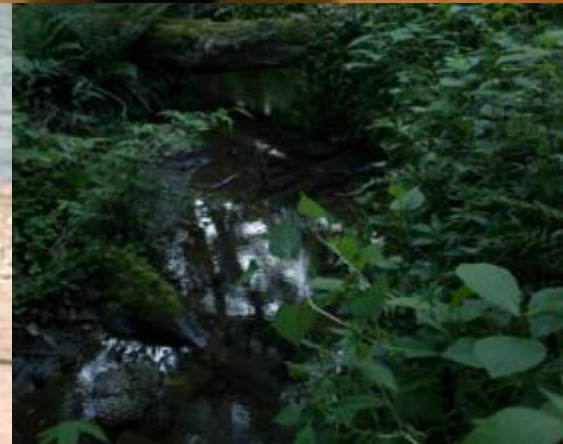




三浦版CCRC

東京から90分
豊かな自然と温暖な気候に恵まれた三浦でいきいき生活



生涯活躍のまち（日本版CCRC）とは

CCRCとは、

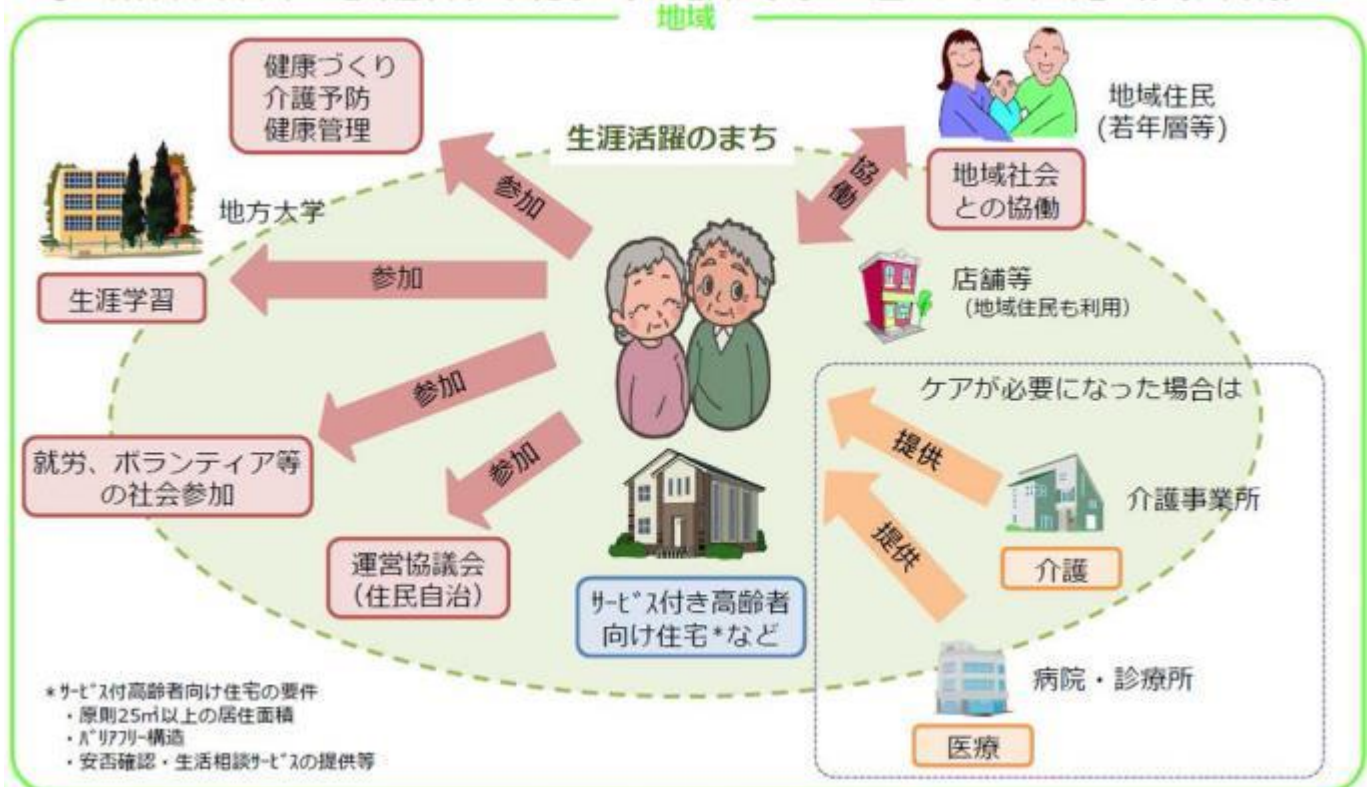
「生涯活躍のまち（日本版CCRC）」構想は、「東京圏をはじめとする地域の高齢者が、希望に応じ地方や「まちなか」に移り住み、地域住民や多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくり」を目指すものです。

構想の主な意義としては、①高齢者の希望の実現、②地方へのひとの流れの推進、③東京圏の高齢化問題への対応、の3つの点があげられます。

「生涯活躍のまち」構想の基本コンセプトは下記の7つです。

1. 東京圏をはじめ地域の高齢者の希望に応じた地方や「まちなか」への移住の支援
2. 「健康でアクティブな生活」の実現
3. 地域社会（多世代）との協働
4. 「継続的なケア」の確保
5. IT活用などによる効率的なサービス提供
6. 居住者の参画・情報公開等による透明性の高い事業運営
7. 構想の実現に向けた多様な支援

①健康でアクティブな生活の実現と継続的ケアの提供、②自立した生活ができる居住環境の提供、③入居者の参画の下、透明性が高く安定した事業運営によるコミュニティの形成を一体的に実現。



※事業の透明性・安定性の確保の方策：入居者の参画、情報公開、事業の継続性確保等
出典）日本版CCRC構想有識者会議 「生涯活躍のまち」構想最終報告

三浦市の特徴

1. 自然環境

- 東京から電車で90分。**都心に程よく近く自然がたくさん存在**する。
- 三浦半島の先端に位置し、**海岸の景観が美しい**。海水浴場、灯台、海蝕崖など、海にまつわる名所が数多くある。
- 年間平均気温は16.5度、平均雨量は114.0mm(年間雨量1,367.5mm)の**比較的温暖な気候**である。



県立城ヶ島公園



馬の背洞門

2. 産業・観光

- 第一次産業主体の地域であり、その多くが専業農家である。**美味しい三浦産の野菜(ダイコン、キャベツ、スイカ、メロン、かぼちゃ、冬瓜等)が豊富**である。
- 「かながわの名産100選」に20品目(工芸品1、加工食品7、農林水産品12)選ばれている。
- **水族館(京急油壺マリンパーク)や市場(三崎魚市場)**など、海辺という立地を生かした観光施設が多い。



三崎港



三浦産の野菜

3. 医療・介護

- **予防医療重視の健康づくり**に地域ぐるみで取り組んでいる。
- 神奈川県立保健福祉大学等7団体連携で**三浦を元気にするリビングラボトリー**を運営し、生活支援サービスを開発している。
- 三浦市立病院が医療・介護連携のセンター機能を担いつつある。



三浦市立病院



三浦市総合体育館

4. 地域活動・イベント

- 春には**桜まつり**、夏には花火大会、秋には三崎港町まつり等**イベントが盛りだくさん**。また、三崎開港祭は、体験プログラムやツアーのイベントにより、市内外の人々の交流を促すイベントとなっている。1月に行われる**チャッキラコ**はユネスコ無形文化遺産に登録されている。
- 他にも、社会福祉法人が開催する福祉センター祭りが開催されるなど、毎月複数の行事・イベントが開催されている。



チャッキラコ



桜まつり

三浦版CCRC構想の具体的なイメージ

～三浦版CCRCが目指すべき方向性～

1. 温暖な気候や自然環境、農水産物など、三浦市の地域資源の最大活用
2. 医療施設や福祉施設、県立保健福祉大学と連携した、地域一体での未病への対応
3. 移住者の確保、産業創出による転出人口抑制など、人口減少対応と地域経済の発展

～三浦版CCRC構想 全体イメージ～

1. 予防医療重視の健康づくり

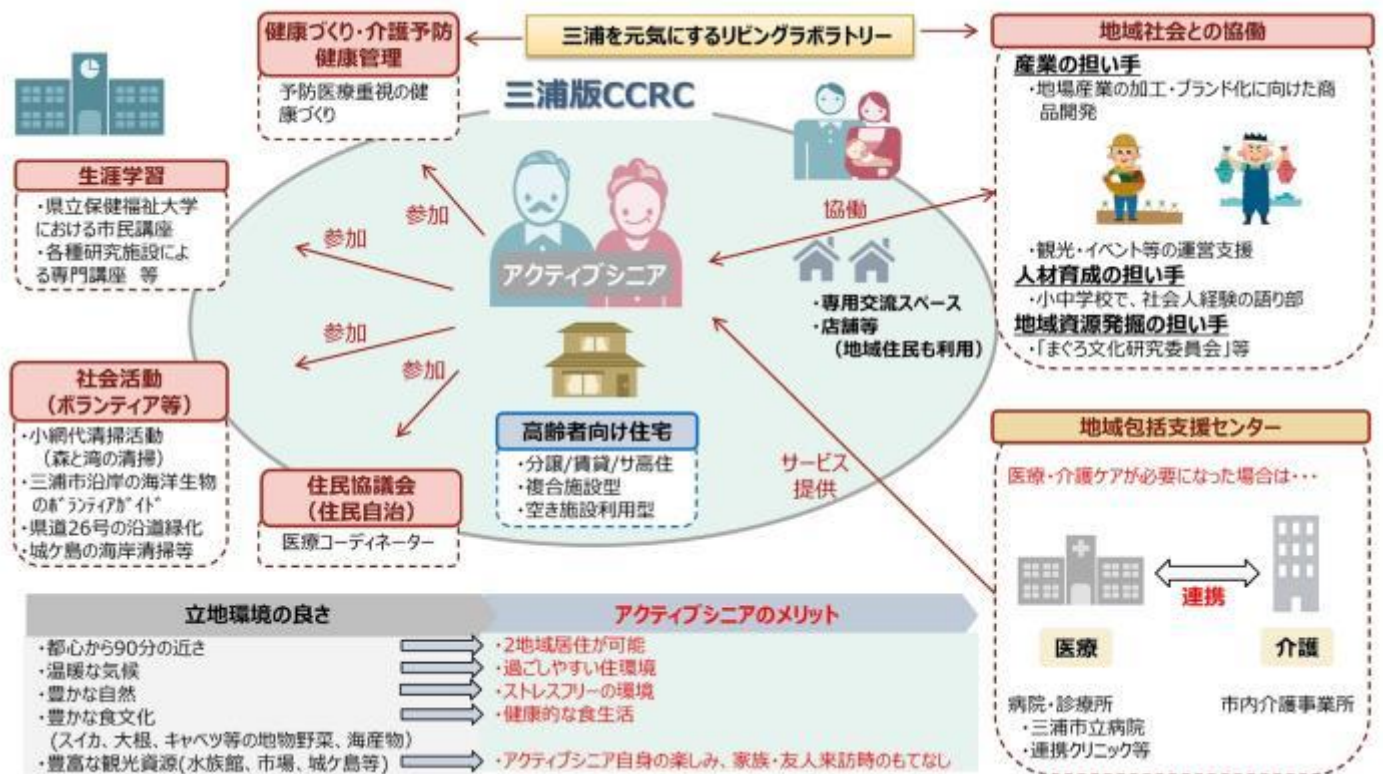
三浦市立病院をはじめとする地域の病院、診療所、企業、大学との連携を図り、アクティブシニアの病気予防、健康増進を図ることができるような仕組みづくりを目指す。

2. 地域社会との交流・協働

元氣な移住高齢者が地域に溶け込み、地元の高齢者や若者、子育て世代と積極的に交流・協働し、地域の担い手として活躍することができるような仕組みづくりを目指す。

3. 要介護時にも安心できる継続的なケア

地域の病院等との連携を図り、アクティブシニアが要介護時にも安心して継続的なケアを受けることができるような仕組みづくりを目指す。さらにアクティブシニアと要介護高齢者が同じ施設に入居し、入居者同士がお互いに助け合う仕組み（コミュニティ）づくりを目指す。



三浦版CCRC構想 2種類のモデル

施設型CCRCモデル

首都圏アクティブシニア層を対象とした、セカンドライフコミュニティ

● 想定される立地のイメージ

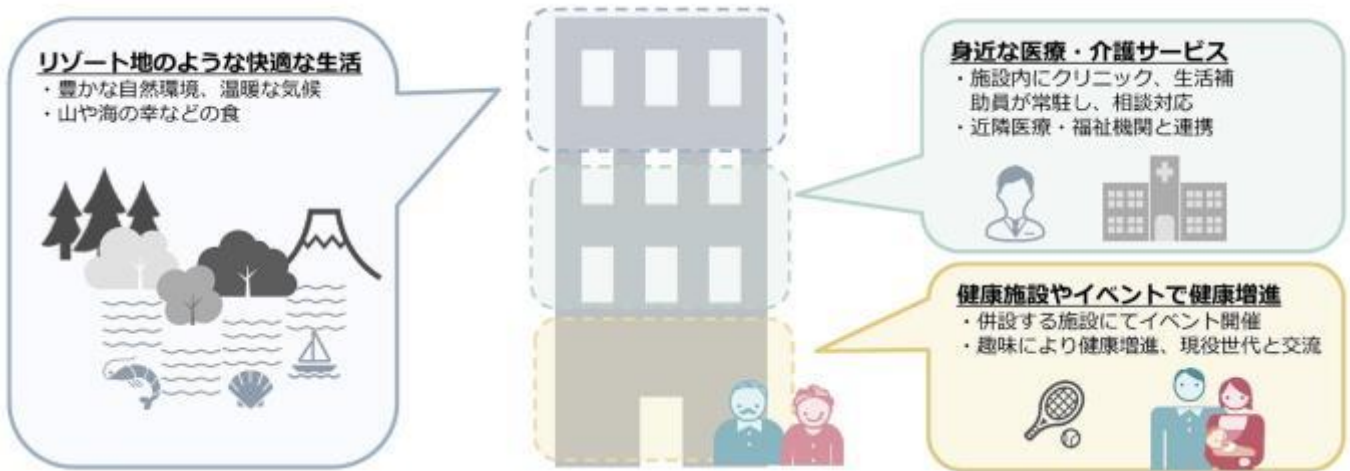
- ・市内において活用されていない大規模な遊休地を活用
- ・海辺の景観の美しさや自然環境の豊かさを活かした住まいを実現

● 提供される住まい

- ・分譲マンション+コミュニティ施設（クラブハウス・グラウンドなど）を組み合わせた複合施設CCRC

● 提案するライフスタイル

- ・三浦市の自然環境を楽しみつつ、コミュニティ施設では食を中心に様々なサービスを提供
- ・施設内にクリニックを併設するほか、近隣医療・福祉機関と連携、健康データ管理により未病に対応



エリア型CCRCモデル

地域資源・観光産業連携型コミュニティ

● 想定される立地のイメージ

- ・市街地において活用されていない施設や空き家を活用
- ・既存の集落や市街地など、地場産業等（主に第一次産業）と連携したコミュニティを構築

● 提供される住まい

- ・空き施設等を活用して移住者の住まいとしてリノベーションし、エリアの特徴に応じて地域社会と交流

● 提案するライフスタイル

- ・地場産業の加工・ブランド化に向けた外部の視点からの関与により、生き甲斐を創出
- ・地域イベントへの企画、地域おこしやPRなどでの関与により、地域住民や多世代交流を促進



三浦版CCRC導入による効果・影響の体系

移住者と既存住民との間で地域コミュニティが形成されにくいという懸念がありますが、移住者と既存住民をつなぐ共有スペースを確保したり、皆で楽しめるイベント開催等により、お互いの距離を縮めることが可能です。

三浦版CCRC導入による効果・影響は以下の通りです。

■ 三浦版CCRC導入による効果・影響の体系

	移住者家族	移住者	既存住民	地域
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ■ 豊かな自然や食文化に触れる機会の増加 ■ 安心感の向上 ■ 介護負担の軽減 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康寿命の延伸 ■ 楽しみや、生きがい・やりがい活動への参画 ■ 自然や食など豊かな環境 ■ 将来の医療・介護の安心 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新産業創出による就業機会の増加 ■ 社会参加機会の増加 ■ 楽しみや、生きがい・やりがい活動への参画 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人口減少への対応 ■ 雇用誘発効果 ■ 経済波及効果 ■ 市税収入増・社会保険料収入増効果 ■ 遊休地の有効活用
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 家族関係の希薄化 ■ 距離が離れるに伴う緊急時対応等への不安 ■ 子育てへの協力者としての高齢家族の存在 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域コミュニティとの融和 ■ 就業機会や活躍の場の確保 ■ 移住に伴う生活費の不安 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新しい移住者との融和 ■ 医療・介護の受け皿の不足に対する懸念 ■ CCRC導入に対する理解の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 継続的な移住者の受け入れ ■ 高齢化率の高まり ■ 将来の医療・介護保険財政への負担増

アクティブシニアの移住は、移住者だけでなくこれまで三浦市に住んでいた住民や地域（市）にとっても沢山のメリットがあるんだ！



三浦ツナ之介



岩崎勝行氏撮影

三浦版CCRC導入によるメリット

三浦版CCRC導入による市の医療・介護費負担は、50年間の合計額でみると、移住者の社会保険料収入及び市民税収入により賄うことができると推計されました。

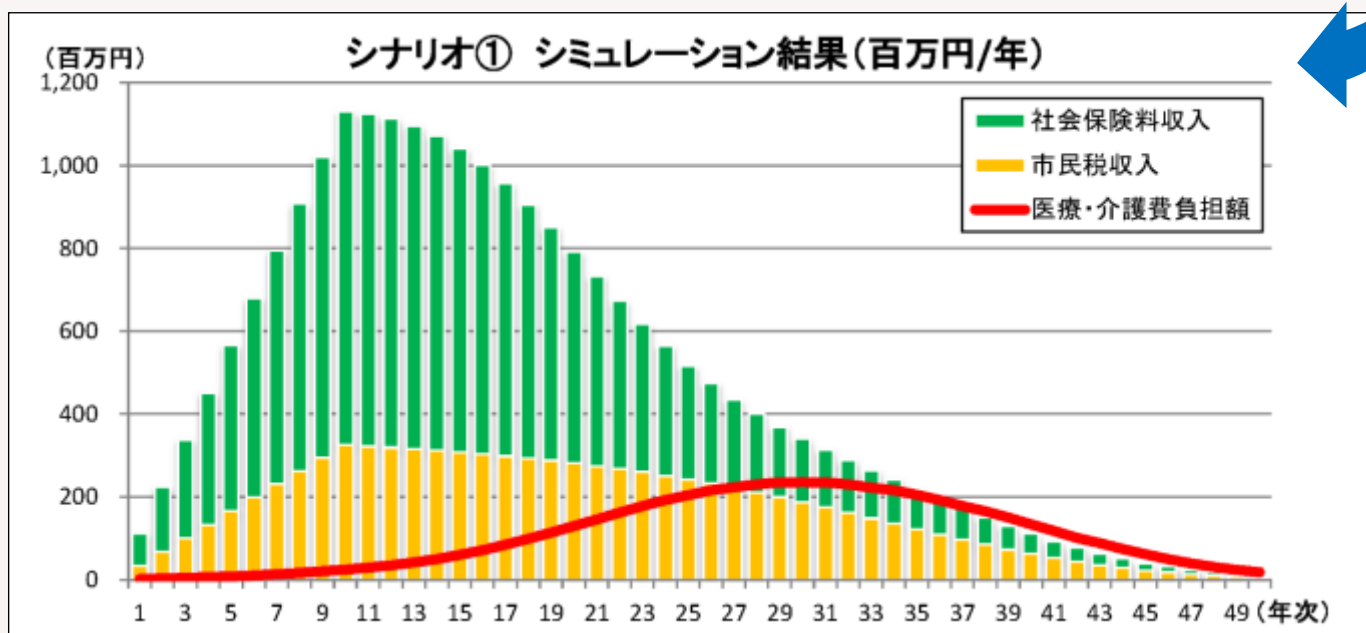
導入から37年後には医療・介護費用が社会保険料・市民税収入を上回ることが想定されますが、それまでに累積してきた社会保険料・市民税収入で十分にカバーできると考えられます。

医療・介護費にかかる将来の市の負担増に備えて、健康寿命を延伸していくための取り組みが求められています。

■ 三浦版CCRC導入により想定されるシナリオ

内容	シナリオ①最大開発規模
政策実施期間	10年間
年次移住者数	2,500人(250人×10年)
政策効果計算期間	50年間
性別の分布	1:1
移住者の対象年齢幅	50～69歳
移住者の最大ボリューム層	60歳
移住時の健康状態	健康者=10割、要介護認定=0割
住所地特例適用割合（サ高住入居者の割合で算出）	一般住宅居住者=10割、サ高住入居者=0割
年間消費可能額	240万円/年
自市内消費割合	全国値77%
年齢別受診率、1人あたり医療費・介護費	全国値
医療費・介護費の自己負担比率、市町村負担比率	全国値8.33%


■ CCRC導入による市の負担額及び収入の推移





お問合せ先



 三浦市

三浦市 政策部 市長室

〒238-0298 神奈川県三浦市城山町1番1号

TEL:046-882-1111 (内線207または441)